

(7) 各道府県農業再生協議会等が作成した令和7年産主食用米の生産の目安等

※ 詳細については、以下の各都道府県農業再生協議会等の窓口にお問合せください。

※ 「公表日等」欄に記載の日付は、各都道府県農業再生協議会が総会等にて目安を決定した日、または、プレスリリースを行った日。

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先														
北海道	<p>「生産の目安」（公表日 2024/12/24）</p> <p>○ 北海道米の需給と価格の安定を図るため、7年産の生産量を令和6年産の生産実績と同水準と設定した全国の需給見通しを基本に、道内の農業団体・集荷団体による販売計画や産地の作付意向などを総合的に勘案し、前年産の生産実績を上回る数量で設定。</p> <p>○ 令和7年産の主食用米の生産の目安 数量 497,000 トン、面積換算値 87,054ha</p>	<p>北海道農政部生産振興局農産振興課（水田） Tel.011-204-5435</p> <p>https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/kome/suidenbukai.html</p>														
青森	<p>「生産数量目標」（公表日 2024/12/24）</p> <p>○ 青森県「需要に応じた米の生産調整」に関する要領（平成29年9月制定）に基づき、各地域農業再生協議会、各農業協同組合及び青森県米穀集荷協同組合の傘下業者から青森県農業再生協議会に報告のあった地域ごとの生産計画数量の計を地域農業再生協議会別生産数量目標とし、その合計を県全体の生産数量目標とした。</p> <p>生産数量目標【県全体】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">R7 生産数量目標</th> <th colspan="2">R6 生産数量目標</th> <th rowspan="2">R6 作付面積</th> </tr> <tr> <th></th> <th>面積換算値</th> <th></th> <th>面積換算値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>218,972t</td> <td>36,126ha</td> <td>204,649t</td> <td>33,908ha</td> <td>37,200ha</td> </tr> </tbody> </table>	R7 生産数量目標		R6 生産数量目標		R6 作付面積		面積換算値		面積換算値	218,972t	36,126ha	204,649t	33,908ha	37,200ha	<p>青森県農産園芸課企画管理グループ Tel.017-734-9479</p>
R7 生産数量目標		R6 生産数量目標		R6 作付面積												
	面積換算値		面積換算値													
218,972t	36,126ha	204,649t	33,908ha	37,200ha												
岩手	<p>「生産目安」（公表日 2024/12/19）</p> <p>○ 国が公表する「米の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和6年10月公表：農林水産省）」における令和7年産の全国の主食用米等生産量に対し、岩手県のシェアを乗じて算定する。</p> <p>全国の主食用米等生産量（683万トン）× 岩手県シェア（3.54%）</p> <p>令和7年産生産目安：241,714 トン（面積換算：44,389ha）</p>	<p>岩手県農林水産部農産園芸課 Tel.019-629-5708</p>														
宮城	<p>「生産の目安」（公表日 2024/12/18）</p> <p>(1) 県の基本数量（A） 国が示す全国の需給見通し（主食用米等生産量）に、県産米シェアを乗じた数量を「県の基本数量」とする。 県産米シェアは、直近5カ年の需要実績シェアの5中3平均値から算出した4.8103%とする。 基本数量（A）=328,547 トン（683万トン×4.8103%）</p> <p>(2) 事前契約の積み上げ（B） 地域農業再生協議会等から報告された「生産計画」を基に、R7年産の事前契約数量を集計し、新たな需要として増加した数量については、「県の基本数量」に積み上げる。（B）=0トン</p> <p>(3) 過剰在庫の解消（C） 過剰在庫が生じた場合や翌年産で過剰在庫が見込まれる場合は、解消の措置をとる。 （C）=0トン</p> <p>(4) 「生産の目安」の算定 （A）+（B）+（C）= 328,547 トン（面積換算：60,199ha）</p>	<p>宮城県農業再生協議会 （事務局：宮城県農政部みやぎ米推進課） Tel.022-211-2842</p>														
秋田	<p>「生産の目安」（公表日 2024/12/5）</p> <p>○ 県全体の「生産の目安」 「全国生産量（683万トン）と県産米シェアから算出した数値」と「県産米の需給動向と適正在庫量から算出した数値」の中間値を基本に設定。</p> <p>令和7年産「生産の目安」419,000 トン（面積換算値 72,617 ha） 6年産実績対比（面積ベース）+417ha</p>	<p>秋田県農業再生協議会（事務局：秋田県農林水産部水田総合利用課） Tel.018-860-1783</p>														

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
山形	<p>「生産の目安」（公表日 2024/11/29）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国の需給見通し（主食用米生産量）に県産米のシェア（直近6年中4年平均）を乗じた数値をベースとする。 $683 \text{ 万トン} \times 4.74\% = 323,972 \text{ トン} \dots \textcircled{1}$ ○ 過去10年の平均県シェアである4.77%まで回復するよう0.03%を加算する。 $683 \text{ 万トン} \times 0.03\% = 2,287 \text{ トン} \dots \textcircled{2}$ ○ 以上から、令和7年産米の「生産の目安」については、326,300トン（$\equiv \textcircled{1} + \textcircled{2}$）とする。 <p>県段階の「生産の目安」 数量：326,300トン 面積換算：54,113ha</p>	山形県農林水産部農政企画課 Tel023-630-2304
福島	<p>「生産の目安」（公表日 2024/12/26）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県全体の生産の目安 令和6年10月30日に国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を踏まえ、本県産米における需要量シェア、在庫水準等を基に試算するとともに、原子力被災12市町村における営農再開の状況を考慮し、令和7年産主食用米生産の目安については、令和6年産実績と同じ56,500haと設定する。 	福島県農林水産部水田畑作課内 Tel024-521-7369
茨城	<p>「生産数量目標に相当する数値（以下、目安）」（公表日等 2024/12/25）</p> <p>1 本県の目安について</p> <p>（1）本県の目安の算出方法 本県の目安は、全国の主食用米等生産量の見通しの683万トンに、直近5年間（令和元年～令和5年産）の全国の需要実績に対する本県のシェア4.66%を乗じた数量を基本とする。 さらに、令和7年産においては、直近の需給状況を反映させるため、令和6年6月末の在庫量のうち、本県の前年比増減割合と、全国における前年比増減割合を比較し、本県が全国に対して下回っている割合分の数量について目安に加味する。 また、算出した目安を令和6年産米の茨城県の年平均収量（527kg/10a）で除し、令和6年産の面積換算値を設定する。</p> <p>（2）上記の（1）を基に算出した本県の令和7年産米の目安 $320,994 \text{ トン} (60,910\text{ha}) = \text{全国の主食用米等生産量の見通し} 683 \text{ 万トン} \times \text{本県シェア} 4.66\% - \text{考慮在庫量} - 2,716 \text{ トン}$</p> <p>2 自主的推進目標面積の設定について これまで、全国的な需給と価格の安定に資するため、目安を達成した市町村の定着を図る取組として地域農業再生協議会に提示してきた「自主的推進目標面積」は設定しない。</p>	茨城県農業再生協議会（茨城県農林水産部産地振興課） Tel029-301-3921 http://www.ibaraki-suiden.jp/
栃木	<p>「作付参考値」（公表日等 2024/12/24）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和7年産においては、米の価格の高止まりから主食用米の更なる生産拡大が見込まれており、価格の下落を防ぎ、生産者の所得を確保するためには、需要に応じた生産となるよう、作付参考値を算定することが必要。 ○ このため、国からの需要動向に加え、県内農業団体への聞き取り等により、事前契約やこれまでの販売実績を踏まえた集荷・販売計画と、その他の需要等を基本とする算定方法により、作付参考値を設定。 なお、酒造好適米については、酒造業者などの実需者と直結した生産が行われているため、作付参考値の対象から除外。 <p>令和7年産作付参考値 272,396t (50,444ha)</p>	J A 栃木中央会内 Tel028-616-8531 http://www.tcc-hu-ja.or.jp/saiseikyoo/
群馬	<p>「生産目安」（公表日等 2024/12/19）</p> <p>令和6年10月に国から公表された全国的主食用米等生産量の対前年比（a）により、算定する。</p> <p>県域の生産目安（トン）＝令和6年産主食用米の本県の生産目安（トン）× a</p> <p>国が策定した令和7／8年の主食用米等の需給見通しに基づく令和7年産主食用米等生産量は683万トン（対前年比102%）であることから、県域の生産目安は、68,892トンと算定される（面積換算値13,879ha）。</p>	J A 群馬中央会担い手支援部 Tel027-220-2028

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先									
埼玉	<p>「生産の目安」（公表日等 2024/12/24）</p> <p>埼玉県における「生産の目安」の算定方法については、「需要に応じた米生産の推進に係る「生産の目安」について（令和5年12月策定）」で定めている。</p> <p>その考え方に基づき、埼玉県における令和7年産米「生産の目安」は、国が示した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和6年10月）」で示す直近の過去6年分の本県の需要実績から全国需要実績に対するシェアを算出する。その中庸な4年分の平均値を全国の需要見通し数量（663万トン）に乗じて本県の需要量を算定する。</p> <p>さらに、令和6年6月末時点の民間在庫量は、国・県ともに過去の在庫水準と比較して大きく減少していることを考慮し、上記算定結果に在庫量を勘案して設定する。</p> <p>この結果、埼玉県の令和7年産米の「生産の目安」は142,221t、面積換算値は28,825haとする。</p>	<p>埼玉県農林部生産振興課内 Tel.048-830-4036</p> <p>https://www.saitama-suiden.org/index.html</p>									
千葉	<p>「生産目安」（公表日等 2024/11/27）</p> <p>○本県の令和7年産主食用米の生産目安は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」（令和6年10月、農林水産省）を踏まえ、令和7/8年の主食用米等の需給見通しの令和7年産主食用米等生産量に、本県産米の需要実績シェア（直近6年のうち最高と最小を除いた4年平均）を乗じた数量とする。また、生産目安を本県の令和6年産平均収量で除し、面積換算値を設定する。</p> <p>○計算式</p> <p>262,272トン＝令和7年産主食用米等生産量683万トン×本県産米の需要実績シェア3.840%</p> <p>48,212ha＝生産目安262,272トン÷令和6年産平均収量544kg/10a</p> <p>令和7年産主食用米の生産目安 262,272t（面積換算値48,212ha）</p>	<p>千葉県農林水産部生産振興課水田農業対策室内 Tel.043-223-2891</p> <p>http://www.chiba-suiden.jp/</p>									
新潟	<p>「生産目標」（公表日 2024/11/26）</p> <p>○ 本県の主食用米の生産量は、令和5、6年と2年連続で目標数量を確保できておらず、全国の消費者が求めている需要に応えられなかった。</p> <p>○ 日本の食料供給基地として、食料安全保障の確保に貢献していくため、新潟米の年間を通じた安定供給が可能となるよう、適正な在庫量等を見直し、県生産目標を設定。</p> <p>○ 需要に応じた生産に向け、本県の令和8年6月末の在庫を適正量（年間需要量の3カ月分）とするため、令和7年産米の適正な生産量は56.24万トン。</p> <table border="1" data-bbox="154 1065 1135 1303"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年産県生産目標</th> <th>【参考】令和6年産実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産量</td> <td>56.24万トン</td> <td>54.35万トン（作況98） 〔6年産が作況100だった場合〕 (54.96万トン)</td> </tr> <tr> <td>面積換算</td> <td>103,800 ha</td> <td>101,400 ha</td> </tr> </tbody> </table>		令和7年産県生産目標	【参考】令和6年産実績	生産量	56.24万トン	54.35万トン（作況98） 〔6年産が作況100だった場合〕 (54.96万トン)	面積換算	103,800 ha	101,400 ha	<p>新潟県農業再生協議会（事務局 新潟県農林水産部農産園芸課） Tel.025-280-5295</p> <p>https://www.niigatamai.info/public/list/c/14/（新潟県農業再生協議会HP、県農業再生協議会情報）</p>
	令和7年産県生産目標	【参考】令和6年産実績									
生産量	56.24万トン	54.35万トン（作況98） 〔6年産が作況100だった場合〕 (54.96万トン)									
面積換算	103,800 ha	101,400 ha									
富山	<p>「生産目標」（公表日 2024/12/5）</p> <p>○ 富山県農業再生協議会において、①全国の生産量の目安を踏まえつつ、②本県産米の需要見通し、在庫量や価格の動向、超過達成の状況等を勘案し、需要に応じて安定的な供給ができるよう、県段階の生産目標を176,134トン、面積換算で32,200haと設定した。</p>	<p>富山県農業再生協議会（富山県農業協同組合中央会農業対策課内） Tel.076-445-2011</p>									
石川	<p>「生産基準数量」（公表日 2024/12/13）</p> <p>○ 県農業活性化協議会において、行政、生産者、販売業者など関係者の合意のもとで主食用米の「生産基準数量」を決定。</p> <p>○ 主食用米の「生産基準数量」は、国の生産量の見通しや考え方も踏まえつつ、国が公表する本県需要実績に基づき設定。</p> <p>本県における令和7年産主食用米生産基準数量：112,881トン</p>	<p>石川県農業活性化協議会 JAGグループ石川営農戦略室 Tel.076-240-5051</p> <p>石川県生産振興課 Tel.076-225-1621</p> <p>http://www.chu-is-ja.jp/inkk/</p>									

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先																				
福井	<p>「生産数量の目安」（公表日 2024/12/20） 国が示した令和7年産の全国の需給見通しを参考にするとともに、福井県産米の需給状況と需要見込みに基づき、目安を設定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和6年産生産数量目安</th> <th colspan="2">令和7年産生産数量目安</th> <th colspan="2">R7-R6</th> </tr> <tr> <th>数量 (t)</th> <th>面積 (ha)</th> <th>数量 (t)</th> <th>面積 (ha)</th> <th>数量 (t)</th> <th>面積 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井県</td> <td>114,252</td> <td>22,014</td> <td>116,718</td> <td>22,489</td> <td>+2,466</td> <td>+475</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年産生産数量目安		令和7年産生産数量目安		R7-R6		数量 (t)	面積 (ha)	数量 (t)	面積 (ha)	数量 (t)	面積 (ha)	福井県	114,252	22,014	116,718	22,489	+2,466	+475	福井県農業再生協議会 TEL0776-27-8223
	令和6年産生産数量目安		令和7年産生産数量目安		R7-R6																	
	数量 (t)	面積 (ha)	数量 (t)	面積 (ha)	数量 (t)	面積 (ha)																
福井県	114,252	22,014	116,718	22,489	+2,466	+475																
山梨	<p>「生産の目安」（公表日等 2025/1/10） 令和7年産主食用米等の生産数量の目安の設定にあたっては、需要に応じた生産として需要量の減少を目安に反映して算出してきたが、令和7年産については、令和6年産の品薄を鑑み前年と同水準とした。 令和7年産米の生産数量目安 24,491 トン（対前年と同様） 面積換算 4,552ha（対前年比8ha増）</p>	J A 山梨中央会 農業振興課内 TEL055-223-3503																				
長野	<p>「生産数量目安値」（公表日等 2024/11/26） 令和7年産の需要見込みを推計し、令和6年産の過剰作付数量を除いた数量に国の示す適正生産量の前年当初との対比＜令和7年産適正生産量÷令和6年産当初適正生産量＞を乗じた値を基本として算定。</p> <p>○ 令和7年産主食用米の生産目安値 179,307 トン（対前年 2,604 トン増）、面積換算値 29,041 ha</p>	長野県農政部農業技術課内 TEL026-235-7221																				
岐阜	<p>「生産目標」（公表日 2024/12/10） ○ 令和7年産主食用米等の生産指標の設定にあたっては、国が令和6年7月に示した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を基に、直近7年中5年の全国需要量における岐阜県米が占める割合を乗じて、令和7年産の岐阜県の生産指標を設定し、市町村別の生産数量実績の直近2ヶ年の平均値のシェアで按分した市町村別生産指標を各地域農業再生協議会へ提示した。 （生産指標通知日：令和6年10月16日）</p> <p>○ 生産指標を基に、各地域農業再生協議会が設定した、令和7年産の「生産目標」の集計値は、100,469t（面積換算値 20,712ha）となる。</p>	岐阜県農政部農業園芸課 TEL058-272-8439 https://www.pref.gifu.lg.jp/page/16968.html																				
静岡	<p>「需要量予測及び生産目安」（公表日等 2025/1/17）</p> <p>○ 需要量予測 平成21年産から令和5年産までの需要実績から回帰分析を行い、令和7年産の県産米の需要量を72,485 トンと試算した。 ※需要予測には、国から提供される県産米の生産量と在庫数量から算出した需要実績を用いる。</p> <p>○ 生産目安 生産目安については、国が示した令和7年産の適正生産量が令和6年産の生産実績と同水準であったこと、県内実需（JA、米穀卸業者）が令和7年産について令和6年産と同水準から同水準以上の集荷を計画していることを加味し、令和7年産の生産目安面積は14,400haとした（数量換算値 74,880 トン）。 ※数量換算値は生産目安面積に水稻の10a当たりの年収量（520 kg/10a）を乗じて算出。</p>	静岡県経済産業部農業局農芸振興課内 TEL054-221-3249																				
愛知	<p>「生産数量目標の目安」（公表日 2024/12/9） 愛知県の総需要量（人口×一人当たり消費量）に占める愛知県産米シェア率（過去10年間の10中8平均シェア率）により需要量を推計し、6月末在庫量を考慮して主食用米等生産量を算出し、令和7年産米の生産数量目標の目安とする。</p> <p>令和7年産米の生産数量目標の目安：132,464t（面積換算値 26,532ha）</p>	愛知県農業再生協議会 事務局：愛知県農業水産局農政部園芸農産課 TEL052-954-6420																				

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
三重	<p>「生産量の目安」（公表日 2024/12/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」を参考に、令和6/7年及び令和7/8年の三重県産主食用米の需給見通しを算出する。 ○ この需給見通しから算出した令和7年産主食用米等生産量を「主食用米生産量の目安」とする。 ○ 食用米生産に供する種子については、県産米の安定生産を図る上で重要であることを鑑み、「水稻種子生産量」の必要分とする。 ○ 「主食用米生産量の目安（135,946t）」に、「水稻種子生産量（380t）」を加え、三重県の「生産量の目安（136,326t）」とする。 	<p>三重県農林水産部農産園芸課 Tel.059-224-2547</p> <p>http://www.pref.mie.lg.jp/NOUSAN/HP/77062045898.htm</p>
滋賀	<p>「生産目標（生産の目安）」（公表日等 2024/11/20）</p> <p>令和7年産米の生産目標（生産の目安）は、「基本指針」をはじめ、滋賀県産米の民間在庫量、需要実績の推移等を総合的に勘案し、昨年度の実績よりやや多い148,000トンと設定した。これは、令和6年産の実績141,700トンが令和6年産の生産目標に4,400トン足りていないことから需要実績近くまでは必要との判断。</p> <p>令和7年産生産目標（生産の目安）：148,000t（面積換算値：28,516ha）</p>	<p>滋賀県農業再生協議会 Tel.077-528-5211</p> <p>http://www.shiga-suiden.jas.or.jp/jyuyou/R07san_haibun.pdf</p>
京都	<p>「見通し」（公表日等 2024/12/18）</p> <p>主食用米の需要量は中長期的には減少しており、主要生産県の増産により、消費県である京都府への販売攻勢が懸念される。このことから、オール京都で、需要としっかり結びついた高品質な米作りに取り組むとともに、知名度の向上、生産の低コスト化、高温などの気象条件に対応するための技術対策の強化を進める。</p> <p>また、令和7年産の作付け規模は、地域の実態や作付意向を重視しつつ、不作付地を増やさないため、令和6年産の作付け規模を維持する方向で取り組む。</p> <p>令和7年産水稻（主食用）作付見通し：12,396ha</p>	<p>京都府農林水産部農産課 Tel.075-414-4953</p>
兵庫	<p>「生産目安」（公表日等 2024/12/6）</p> <p>兵庫県内の主食用米における生産目安算定・提供方針（平成29年11月24日策定）の2に基づく考え方で進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 全国の米の需給見通しから基本となる数値を算定し、県産米に対する需給動向等を踏まえて調整する。 (2) 生産目安の対象は、主食用米とする。酒造好適米（酒米）は、全量が契約栽培で酒造業界の需要と直結した生産が行われていることから、生産目安から除く。 (3) 主食用米の各市町の作付実績、各地域協議会の作付意向などを調査し、地域の状況を可能な範囲で勘案して算定する。 (4) 目安は、県全体目安と市町村単位で設置する地域協議会ごとの目安の両方を算定する。 <p>令和7年産主食用米の生産目安：150,000t（面積換算値：29,940ha）</p>	<p>兵庫県農林水産部農業経営課 Tel.078-362-3407</p> <p>https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk04/press/20241206.html</p>
奈良	<p>「生産数量の目安」（公表日等 2025/12/17）</p> <p>令和6年10月公表の国が示す基本指針における全国の主食用米等需給見通しによる令和7年産米等生産量（683万トン）が示されたことから、令和6年産主食用米の生産数量の目安（39,260t）に、対前年比率（683万トン/669万トン）を乗じて令和7年産米の生産の目安を算定。</p> <p>令和7年産生産数量の目安：40,082t（面積換算値：7,820ha）</p>	<p>奈良県食農部農業水産振興課 Tel.0742-27-7443</p>
和歌山	<p>「生産数量の参考値」（公表日等 2025/1/14）</p> <p>令和7年産は6年産と同水準の全国の生産数量の見通し（683万トン）が示されたため、前年と同様に算出。</p> <p>県の令和7年産米生産数量の参考値は、全国の生産量に県シェア率0.436%を乗じて算出（29,780t）</p> <p>令和7年産米の生産数量の参考値：29,780t（面積換算値：5967.9ha）</p>	<p>和歌山県農業再生協議会（事務局）和歌山県農林水産部農業生産局果樹園芸課 Tel.073-441-2904</p>

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
鳥取	<p>「生産数量目標」（公表日等 2024/11/28）</p> <p>1 生産数量目標設定の考え方</p> <p>① 各JAの販売計画に基づく生産数量</p> <p>② 国需給見通しからの試算値</p> <p>※ ①から②の範囲で生産数量目標として設定</p> <p>2 令和7年産米の生産数量目標</p> <p>生産数量目標は、①各地域の販売計画に基づく生産数量（63,844 t）と、②国需給見通しからの試算（60,104 t）の間とする（中間値：61,974 t）。</p>	<p>鳥取県農業再生協議会</p> <p>鳥取県農林水産部農業振興局生産振興課 TEL0857-26-7283</p> <p>鳥取県農業協同組合中央会JA支援部農業くらし対策室 TEL0857-21-2608</p>
岡山	<p>「生産量の目安」（公表日等 2024/12/25）</p> <p>令和6年産の県域の生産量の目安に、国が示した全国の見通し 683 万トンの対前年比率 102.1%を乗じて算定する。</p> <p>さらに、同見通し公表後、作況の見直しにより、令和6年産の予想収穫量が全国で 41,000 トン、うち岡山県で 4,600 トン下方修正され、来年の在庫の減少が見込まれるため、上記で算定した生産量に県の下方修正数量を上乗せして目安とする。</p> <p>目安数量 148,794 トン（対前年増減率 105.3%） 面積換算 28,288 ha（平年単収（526kg/10a）により算出）</p>	<p>岡山県農業再生協議会事務局（JA岡山中央会総務企画部） TEL086-232-2355</p>
広島	<p>「生産の目安」（公表日 2024/12/5）</p> <p>○ 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の全国の需要見通しの令和6/7主食用米等需要量（674万トン）×広島県シェア率（過去10年間の広島県シェア率10年平均）及び令和6年産の広島県主食用米生産数量見込（9月25日時点）+県内産需要不足量（県内実需者に対する需要動向調査により算出）を比較し、前者と後者のいずれか小さい値を県域の生産の目安として算定した。</p> <p>県域主食用米生産の目安（数量）108,956 トン（前者により算出）</p> <p>【参考】後者による県域主食用米生産の目安（数量）112,800 トン</p> <p>○ 県域の生産の目安（数量）を県平年単収（農林水産省公表値）で除し県域の目安（面積換算値）を算定。</p> <p>県域主食用米生産の目安（面積換算値） 108,956 トン/528 kg（20,635ha）</p> <p>【参考】後者による県域主食用米生産の目安（面積換算値）112,800 トン/528 kg（21,363ha）</p>	<p>広島県農業再生協議会事務局（広島県農林水産局農業経営発展課） TEL082-513-3557</p>
山口	<p>「生産の目安」（公表日 2024/12/25）</p> <p>○ 山口県の令和7年産主食用米の生産の目安は、前年とほぼ同水準の 85,170 トン（面積換算 16,895ha）に設定。</p> <p>○ 令和6年産主食用米生産の目安に、令和6年10月30日に公表された「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」で設定された主食用米生産量の対前年比（R7 683万トン/R6 669万トン）を乗じて算定。</p>	<p>山口県地域農業戦略推進協議会事務局 TEL083-973-2215</p> <p>https://y-ninaite.jp</p>
徳島	<p>「生産目安」（公表日 2024/12/24）</p> <p>○ 主食用米の生産目安 9,790ha(46,000 トン)</p> <p>○ 算定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料・農業・農村政策審議会食糧部会において、令和年7産主食用米生産量の見通しは、令和6年産米の生産量と同水準であれば、令和8年6月末の民間在庫量が適正な水準となると見込んでいる。 このことを踏まえ、本県における令和7年産主食用米の生産目安については、令和6年産の生産数量及び作付け面積と同水準の 46,000t、9,790 ha とする。 	<p>徳島県農林水産部みどり戦略推進課 TEL088-621-2430</p>

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
香川	<p>「生産の目標」（公表日 2024/12/19）</p> <p>○ 「生産の目標」設定の方法</p> <p>① 香川県農業協同組合が各地域の現状の品種別作付実態、集荷・販売動向からみた今後の需要等を加味して算定した面積等から、県・JA 担当で構成する、さぬき米生産推進チームにおいて協議のうえ原案を作成。</p> <p>② 全国的に需給バランスが緩和されている中、本県の主食用米の作付面積が 10,000 ㍏を下回り、消費量が生産量を上回る状況となっている。全国の需給見通しを踏まえつつ、県内消費量を県内で生産できるよう作付面積を令和 5 年産同等とする「生産の目標」を設定。</p> <p>提示する内容：面積 10,100 ha、生産量 50,096 トン ※参考：県全体の生産の目標 主要品種及び地域ごとの生産の方向性 提示する単位：県全体、香川県農業協同組合の 7 地域 そ の 他：主要品種及び地域ごとの生産の方向性は、今後、目指すべき品種構成や地域ごとの作付方向であり、各種施策に取り組むとともに、生産者に情報発信を行いながら推進を図る</p> <p>③ 各地域農業再生協議会は、「生産の目標」に基づき、地域協議会ごとの作付予定面積の算定や水田収益力強化ビジョンを策定</p>	<p>香川県農政水産部農業生産流通課 TEL087-832-3418</p> <p>https://www.saiseikyo-kagawa.jp/suiden/index.html</p>
愛媛	<p>「生産の目安」（公表日 2024/12/12）</p> <p>1 愛媛県全体の「生産の目安」の設定方法 県全体の「生産の目安」は、国が公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において設定された令和 7 年産米の全国の適正生産量 683 万トンに、全国の需要実績に対する本県のシェア率（7中5平均）を乗じたものを県全体の「生産の目安」の生産量とし、その数値を本県単年単収で除した数値を「生産の目安」の作付面積とする。 令和 7 年産米の全国の適正生産量 683 万トン × 本県シェア率 0.0094058 ＝ 県全体の「生産の目安（生産数量）」64,242 トン 県全体の「生産の目安（生産量）」64,242 トン ÷ 本県単年単収 4.98 トン/ha ＝ 県全体の「生産の目安（作付面積）」12,900ha</p> <p>2 地域農業再生協議会別の「生産の目安」の設定方法</p> <p>① 作付面積 県全体の「生産の目安」の水準に地域農業再生協議会の作付合計を誘導するよう、各地域農業再生協議会の「生産目標（案）」に一律で係数を乗じて調整した数値とする。</p> <p>② 生産数量 各地域農業再生協議会の「生産の目安」の作付面積に市町別単収を乗じた数値とする。</p>	<p>愛媛県農業協同組合中央会総合企画部 TEL089-948-5610</p>
高知	<p>「生産の目安」（公表日 2025/01/7）</p> <p>1 令和 7 年産米の高知県生産面積目標の設定の考え方 ○ 平成 30 年産米以降、国から示される全国の需要見通しを基に目標を算定していたが、南海トラフ地震臨時情報等を受けた今夏の全国的な米の不足感や高止まりといった状況を踏まえ、令和 7 年産米の目標設定の考え方を以下のように見直し ・ 国が令和 6 年 10 月 30 日に公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針」において示した生産量見通しの考え方に基づき、令和 6 年産作付実績である 10,100ha（生産の目安：46,056 トン）とする</p> <p>2 令和 7 年産米の市町村・地域農業再生協議会別生産面積の目安の設定方法 ○ 県の目標値を基に市町村・地域農業再生協議会ごとの令和 6 年産の生産面積目標の市町村別シェアにより算出した目安を設定</p>	<p>高知県農業振興部農業政策課 TEL088-821-4511</p> <p>https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024011000147/</p>
福岡	<p>「作付計画数量・面積」（公表日 2024/12/24）</p> <p>○ 令和 7 年産における主食用米の作付計画数量・面積</p> <p>(1) 県産米の需要量、コロナ後の外食・インバウンド需要の増加等を総合的に考慮し、県内消費量の 6 割以上の生産量を算定し設定。 作付計画数量：171,500 トン</p> <p>(2) 作付計画数量を本県の前年産米単年単収で除して作付計画面積を算出。 作付計画面積：35,000ha</p> <p>※参考 ○ 令和 6 年産 作付計画数量：171,120 トン、作付計画面積：34,500ha</p>	<p>福岡県水田農業推進協議会 （福岡県農林水産部水田農業振興課） TEL092-643-3473</p>

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
佐賀	<p>「生産のめやす」（公表日 2024/12/18）</p> <p>○ 令和7年産米の「生産のめやす」 国は「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」において、令和6年産の予想収穫量（683万トン）と同水準の作付けを行えば、需給が均衡するという見解を示した。 これを踏まえ、佐賀県においては昨年度示された令和6年産の適正生産量（669万トン）と令和7年産の適正生産量（683万トン）の差14万トンにおける佐賀県のシェア分を増加させることで本県の「生産のめやす」を算出。 ・令和7年産米の「生産のめやす」：130,304トン（面積換算値25,107ha）</p> <p>※参考 ・令和6年産米の「生産のめやす」：127,724トン（面積換算値24,609ha）</p>	<p>佐賀県農業再生協議会（佐賀県農林水産部園芸農産課） TEL0952-25-7117</p>
長崎	<p>「生産の目安」（公表日 2025/1/10）</p> <p>○ 「県の生産の目安（生産量）」は10月に国から提示された令和7年産の「全国の生産数量目安」に「全国における長崎県数量シェア※」を乗じて算定。 ※長崎県数量シェア0.84%とは、昨年と同様に国が最後に示した平成29年度長崎県への生産数量目標61,511tを全国の生産数量目標735万tで除したものの。</p> <p>【県段階の算定方法】</p> <p>1 「県の生産の目安（生産量）」 全国の生産数量目安×全国における長崎県数量シェア $683 \text{ 万 t} \times 0.84\% = 57,159 \text{ t}$</p> <p>2 「県の生産の目安（面積）」 生産の目安（生産量）÷長崎県の平均収量 $57,159 \text{ t} \div 485 \text{ kg/10a} = 11,785 \text{ ha}$</p> <p>○ 令和7年産長崎県生産数量の目安 57,159t 令和7年産長崎県生産面積の目安 11,785ha</p>	<p>長崎県農林部農産園芸課 TEL095-895-2943</p>
熊本	<p>「作付目安」（公表日 2024/12/17）</p> <p>令和7年産米の県全体の作付目安の算定 地域協議会等の作付目標面積の積上げ $= 30,100 \text{ ha}$（数量換算値：154,413トン※） ※$513 \text{ kg} \times 30,100 \text{ ha} \times 10$</p> <p>○地域協議会等の作付目標面積の積上げ30,100ha[対前年比100.5%]を熊本県の作付目安として地域協議会等へ提示した。 ※県で独自に算定した需要見込量との整合性を確認の上、決定。</p>	<p>熊本県農林水産部生産経営局農産園芸課 TEL096-333-2388</p> <p>http://www.kumamoto-suiden.jp/</p>
大分	<p>「生産の目安」（公表日 2024/11/26）</p> <p>1 設定の時期 11月26日</p> <p>2 算定方法</p> <p>ア 県の主食用米の転換面積 「新たな大分県農林水産業振興計画」に基づき、令和5年から令和15年までに主食用米から他の品目へ転換を進める。</p> <p>イ 地域の生産の目安 県の転換計画の実現に向けて、作物の栽培条件や実需者の所在地など地域の実情を考慮して作成された県振興局別の転換計画を基に、令和7年産の地域の生産の目安を算定する。</p> <p>ウ 市町村の生産の目安 令和7年産の地域の生産の目安に令和5年産主食用米の市町村の作付割合を乗じて市町村別の生産の目安を算定する（ただし、算定した生産の目安が前年産の作付実績に比べ大きい場合は、前年産の作付実績を生産の目安とする）。</p> <p>エ 県の生産の目安 市町村の生産の目安の合計を県の生産の目安とする。 ※令和7年産水田の構造改革の加速に向けた目安 17,360ha</p>	<p>大分県農林水産部水田畑地化・集落営農課水田活用推進班 TEL097-506-3593</p> <p>https://www.pref.oita.jp/sos-hiki/15280/7mokuhyou.html</p>

	主食用米の作付けの考え方	問い合わせ先
宮崎	<p>「作付の目安」（公表日 2024/12/19）</p> <p>1 基本的方針 「全国シェア」を用いた算出から「前年の作付実績に県独自の需要見通しを加算」する算出法に変更し、新たに需給情報を提供。将来的には需給情報の提供のみとする。</p> <p>2 算出根拠と算出方法 本県の昨年度作付実績に県独自の需要見通し（県内消費量、集荷業者や卸業者の需要動向等を総合的に判断）を加算し算出する。 ① 宮崎県の令和6年産作付実績（数量）：60,800 トン（面積）：12,400 ha ② 県独自の需要の見通し加算（数量）：6,700 トン（面積）：※1,400 ha ③ 令和7年産作付の目安（数量）：67,500 トン（面積）：13,800 ha ※平年単収 496kg/10a で換算</p> <p>3 市町村への提示 目安 13,800ha に令和6年産主食用米作付面積の市町村別シェアを乗じて算出した面積を提示。</p>	<p>宮崎県農業再生協議会 TEL0985-31-2030</p> <p>宮崎県農政水産部農産園芸課水田農業担当 TEL0985-26-7136</p>
鹿児島	<p>「生産の目安」（公表日 2025/1/10）</p> <p>1 基本的な考え方 水田の有効活用と需要に応じた米の生産を進める必要があることから、県民の主食用米の消費量を参考に「生産の目安」を設定。</p> <p>2 令和7年産の「生産の目安」 ① 生産量：90,000 トン ・県民の米消費量推計（県人口×国民1人当たり米消費量）：約 90,000 トン ② 面積：18,600 ha ・生産の目安（生産量）：約 90,000 トン ÷ R5年産平年収量：485kg/10a</p>	<p>鹿児島県農業再生協議会 （事務局：鹿児島県農政部農産園芸課） TEL099-286-3197</p>
沖縄	<p>「目安」（公表日 2024/11/11）</p> <p>① 「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針（令和6年10月）」の令和7/8年の主食用米等の需給見通し主食用米等生産量と、平成29年産生産数量目標で用いた沖縄県の割合※をもとに、令和7年産主食用生産量（沖縄県）を算出する。</p> <p>② 沖縄県の目標単収を用いて、沖縄県の目安生産量の範囲内で、沖縄県の目安作付面積、目安収穫量を設定する。</p> <p>○全国の令和7年産の生産量設定 683万トン うち、沖縄県の割合 2,602トン</p> <p>○沖縄県の目安収穫量 2,602トン 沖縄県の目安作付面積 813ha 沖縄県の目標単収 320kg/10a</p> <p>※沖縄県の割合は、全国に対して 0.0381%（平成29年産生産数量目標より 2,799 t / 7,350,000 t）</p>	<p>沖縄県農業再生協議会 （事務局：沖縄県農林水産部糖業農産課内） TEL098-866-2275</p>